

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



ひまわりの朽ちたるままに直立す

緑町 池田良子

帰り際はあばよとけがぶ夏休み

西町 岸波君江

湯あがりの肌のほてりや星月夜

西原町 児玉久美子

ほお被り取りて素顔のさわやかな

西町 杉浦とし枝

伸びやかに野に咲く竜胆町花なる

西町 金澤頼子

自転車の風くぐり行く君さやか

藤本町 鈴木ゆき子

弦楽の紡ぐ音色や星月夜

仲町 坂部和子

枝豆の実の入り良しと一抱え

西岡町 高瀬久美子

敬老日労をきざみし吾手かな

元町 印牧安子

ふんわりと風に揺れ咲く花芒

東町 高橋世津子

逝く方や小萩を括る日の名残り

仲町 玉野研一

前向きに過去ひきずらず敬老日

元町 西崎弘子

爽やかな夜風の下よめる今が良し

西町 文梨清子

秋来たる仰ぐ夜空やロマンめく

西岡町 渋谷みさ子

大輪の香気に惹かれ菊花展

緑町 齋藤嘉子

再会は励みのひとつ新酒酌む

仲町 芳賀星子

台風の天地を返す山と川

南桜町 宮腰幸子

ひたひたと肌に沁みくる今朝の秋

仲町 梅基文子

絵手紙の水色深き残暑かな

旭町 宝澤房子

平成を心の隅に星月夜

旭町 大河博子